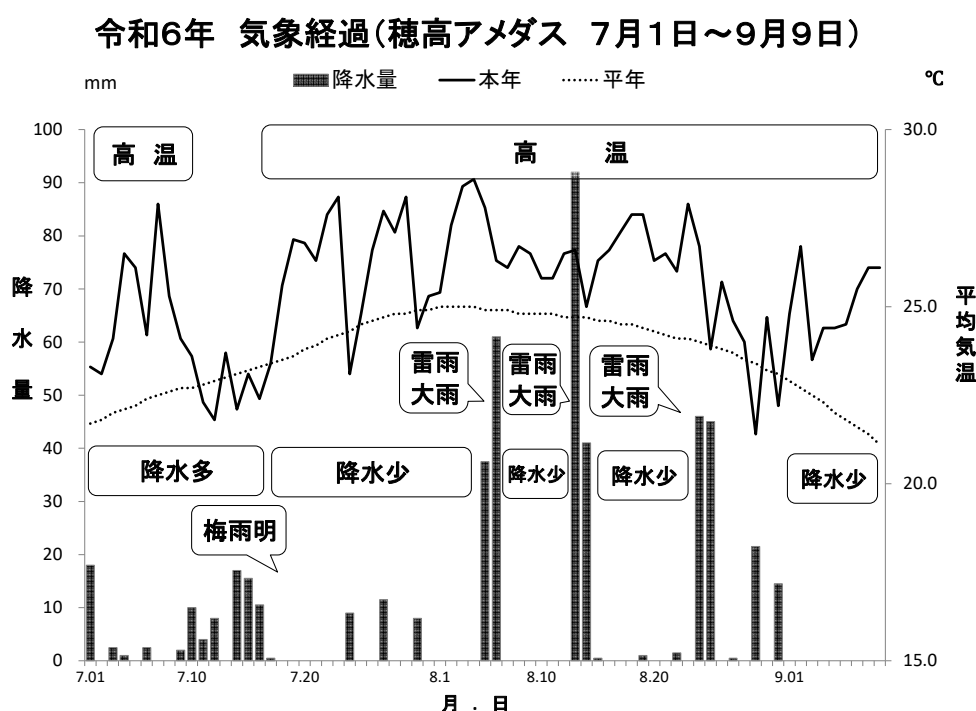


令和6年 作物技術普及情報 第18号

(水稲の生育状況、刈り取り開始予測他について)

1 気象状況



依然として高温傾向が続いています。ゲリラ豪雨や台風の影響で、降水量の多い日もありましたが、降水量のほとんどない日も多く、降水に関しては極端な状況になっています。

9月5日気象庁発表の1か月予報では、気温は平年より高い（特に期間の前半はかなり高い）と予想されています。

また、9月9日気象庁発表の高温に関する早期天候情報では、関東甲信地方は9月15日頃から「かなりの高温（平年より2℃以上高い）」になると予想されています。

2 水稲の刈り始め予測（9月9日現在）について

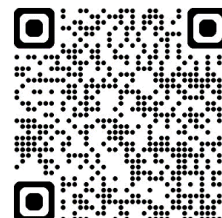
- 今後も高温が続き、成熟期がかなり早まることが予想されるため、刈り始め開始予測は【平年より2℃高温版】を提供いたします。施設の稼働計画や収穫計画にご活用ください。

※下表は9月9日現在の松本～塩尻方面の水田の コシヒカリ（稚苗植）の水稲刈り始め予測（2℃高温版）です。

コシヒカリ 稚苗	標高	刈り始め予測日（出穂期以降 平年より2℃高く推移した場合）					標高
		田植日					
		5月1日	5月5日	5月10日	5月15日	5月20日	
750m	9月8日	9月10日	9月13日	9月15日	9月19日	9月23日	750m
700m	9月5日	9月7日	9月10日	9月12日	9月16日	9月20日	700m
650m	9月3日	9月5日	9月6日	9月10日	9月14日	9月18日	650m
600m	9月1日	9月3日	9月5日	9月7日	9月11日	9月15日	600m
550m	8月29日	8月31日	9月2日	9月4日	9月8日	9月11日	550m

安曇野～筑北方面の水田や他の品種・苗質・標高・田植日については、松本農業農村支援センター 技術経営普及課のホームページに掲載した「水稲刈り始め予測（2℃高温版）9月9日現在」をご覧ください（右下のQRコードからもホームページに進めます）

水稲刈り始め予測は松本農業農村支援センター技術経営係のホームページで随時更新していますので、最新版をご利用下さい。



3 水稻の生育状況（9月9日現在）

- 9月9日現在の成熟期予測では、成熟期は平年より10～14日程度早まっていると思われます。
- 豊科定点圃場の「あきたこまち」の成熟期は8月28日で平年より10日早、「コシヒカリ」の成熟期は9月8日で平年より14日早でした
- 現地の平坦地の生育状況は以下の通りと思われます。

9月9日現在の現地（平坦地）の生育状況

- ・ 早生品種（あきたこまち、美山錦、つきあかり等）
： 収穫終了
- ・ コシヒカリ
 - 4月末～5月初旬植： 収穫終了 ～ 収穫遅れ
 - 5月上旬植： 収穫適期 ～ 収穫晩限
 - 5月中旬植： 収穫適期 ～ 収穫直前
 - 5月下旬植： 収穫直前 ～ 登熟後期

- お盆前後のゲリラ豪雨や台風10号の影響で倒伏が目立つ圃場が増えています。

また、収量への影響は少ないと思われませんが、穂首いもちや枝梗いもちの発生が平年より多いです（特に5月下旬以降に田植えされた圃場や直まき圃場）。

4 収穫の注意点について（9月10日版）

- 平坦地の早生品種
収穫は終了しました。
- 平坦地のコシヒカリ
5月上旬までに田植された圃場では収穫晩限を迎えています。刈り遅れにならないよう、早急に収穫を進めてください。
- 本年は出穂始めから～穂揃い期までの期間が平年より長く、同じ株内の穂でも登熟のばらつきが大きい年になっています。
このため刈り取りの判断が難しく、早刈りしすぎると青米増、成熟を待つと刈り遅れで胴割れ米増が予想されます。

しかし、刈り遅れで胴割れになるよりは、青米が多くても収穫を進めた方が品質は安定します（網目を上げて、色選を通して、胴割れは抜けません）。

刈り取り開始予測を参考に、籾の水分や帯緑色籾歩合を確認して、田植えの早い圃場から早急に刈り取りを進めるようにお願いします。
- 台風等によるフェーン現象で異常高温や極端な乾燥条件になると止葉が急に枯れ上り、白未熟・胴割米や、充実不足による細身の発生が助長されます。

落水中の圃場が多いですが、フェーンが予想される場合は、落水中でも入水（走水）をお願いします。